



梨狩りと文化財めぐり

多摩区観光ボランティアガイドによる
ガイド付き

ウォーク



梨のもぎとり体験と試食 お土産も♪

旧津久井道とその周辺の古刹や北原白秋の文学碑などをめぐり、登戸宿の面影をたどるツアー。

初秋の登戸の奥深い魅力と旬の味覚をお楽しみいただけます。



(光明院)

9月6日(金)

13:15~16:00頃

(小雨決行・荒天中止)

J R南武線登戸駅改札前集合

◇コース： 約3km

北向地蔵跡→登戸宿と柏屋／なまずの碑跡→善立寺→
登戸稲荷社→光明院→丸山教本庁→長念寺→三平果樹園にて
梨狩り→登戸駅または向ヶ丘遊園駅[解散]

◇募集人数：35名 先着順受付

◇参加費：1,500円(梨お土産・資料・保険代含む)
歩きやすい服装でご参加ください。

申込み・問合せ：多摩区観光協会事務局(多摩区役所地域振興課)

8月15日(木) 10時から

電話 044-935-3132

FAX 044-935-3391

※参加者全員の住所・氏名・年齢、代表者の電話番号を記入のこと

(ご提供いただいた個人情報は今回の事業のみに使用し、他の目的には使用いたしません。)



北向地蔵と馬頭観音（跡）

2体の石仏は、江戸時代（中期～後期）に建てられた。お地蔵さまは通常西向きで、北向きは珍しく大変ご利益のある子育て地蔵である。馬頭観音は、馬の供養とともに守護神として信仰されていた。この石仏はいつも香華が絶えず、地元の人たちによって大切に守られていた。今年6月、登戸土地区画整理事業に伴い撤去され、7月に光明院へ遷座（神仏の移転）した。

登戸宿と柏屋／なまずの碑（跡）

赤坂御門から津久井方面に通じる津久井道の登戸宿は、居酒屋や煮売り屋などが多い盛り場的な賑わいのある宿場であった。柏屋は、江戸時代から農業の傍ら旅人を泊める宿屋で、明治の末頃料理屋も兼ね多摩川の行楽客で繁盛していた。店の入口には、巖谷小波の「小春日や 日本一の 腹加減」の句と一緒に飯田九一の「なまずの絵」の石碑が残っている。今年8月、登戸土地区画整理事業に伴い柏屋は登戸駅北口の多摩川沿いへ移転した。

善立寺

善立寺の由緒によると、平安時代初期 慈覚大師円仁の創建。近世的な寺院となったのは室町時代後期とされている。江戸時代に一時廃寺となったが、池上本門寺の僧日徳が再興して現在に至る。宗派は日蓮宗、御本尊は日蓮上人。

境内には、明治6年登戸小学校開設の記念碑がある。参道入口には、江戸時代後期に登戸村と下流52か村の水争いの時、名主や年寄りと一緒に奔走した心労で亡くなった井上弥兵衛の妻の大きな供養塔が建っている。

登戸稻荷社

県神社誌によると、稻荷社は甲斐の武田氏の小荷駄奉行吉沢兵庫の屋敷にあった稻荷社が始まりと伝えられている。現在の社殿は江戸時代後期（嘉永3年）に再建された。祭神は宇賀魂大神。本殿外壁には左官職人による鏝(こて)画が描かれており、職人の心意気と技の高さが伝わってくる。

光明院

稻荷山光明院は戦国時代に源空法印が開山。宗派は真言宗豊山派で、御本尊は大日如来。現在の本堂は江戸時代中頃に建てられた。本堂正面の唐破風付向拝は、戦後登戸小学校の玄関にあった庇が移築されたもの。本堂に祀られている木造不動明王及び二童子像は、室町時代（天文22年）の制作で市の重要歴史記念物に指定されている。市内に残る中世仏として大変貴重な仏像である。

丸山教本庁

丸山教は、明治3年に登戸村の一農民であった伊藤六郎兵衛が興した世直しの性格の強い新興宗教。最盛期の明治19年には信者が138万人いたという。戦後は、平和祈願や人助けなど救民活動を行った。境内には、教祖を祀る御法殿などのほか、北原白秋の歌碑や佐藤紅祿・佐藤惣之助・丸山教3代目伊藤葦天の句碑がある。5月に咲く御法殿前の藤棚は見事である。

長念寺

永池山長念寺は、浄土真宗の寺院で御本尊は阿弥陀如来。開祖・創建は室町時代後期（大永2年）法泉坊大徳によって草庵が築かれたことに始まる。その後、江戸時代初期に領主の中根壱岐守正盛の奥方秀月禅尼によって中興された。現在の本堂は江戸時代後期（文政7年）の再建。同寺には、県指定文化財「鳥合わせ図屏風」と市重要歴史記念物「阿弥陀如来立像」「秀月禅尼画像」「本堂」「山門」「庫裏」がある。